とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	あそか保育園
日時	令和７年 10月

1，活動テーマ

＜テーマ＞自然

４歳児・・・自然物を集めて遊ぼう

＜テーマ設定理由＞

園庭に葉が落ち、集めてままごと遊びをする姿があった。子ども達から「枝もほしい」という声があり、ままごとや様々な遊びに発展したり楽しめると思い近隣へ散歩へ行き枝や木の実を拾えるような計画を立てた。

2，活動スケジュール

①散歩へ行く。②枝や木の実（どんぐり、エゴの実）を拾う。③園でどんぐりの種類や大きさで分ける。④中身を観察したり、ままごとに取り入れたりして遊ぶ。

3，活動のために準備した素材や道具、環境設定

・散歩バック（1人ひとつ）・図鑑（手持ちサイズ）
・すり鉢、すりこぎ
・観察バケツなどの仕分けできる容器・ござや砂場で使える道具

4，探究活動の実践

＜活動内容＞

①近隣へ散歩へ行き、枝や木の実を集める。②どんぐりを拾って自分のバックに入れて集めたり、保育士と一緒に木の実や草の名前を調べる。③割れているどんぐりを手で剥いて中身を見たり、中にいた虫を見つけて観察したりする。④木の実が入ったバックを振り、音を楽しむ姿もある。④園に持ち帰り、どんぐりの種類や大きさで分ける。⑤拾ってきたどんぐりをすり鉢ですったり、ままごと遊びをして楽しむ。

＜活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり＞

・落ち葉集めをする中で枝を欲しがる姿がある。
保育士「散歩に行って探してみよう」

＜散歩へ行く＞
子ども「どんぐりがたくさんある！」
「小さいのもあるよ」「長い枝あった！」
保育士「穴が開いているものもあるね」
子ども「割れてるの剥いてみる」「中身ツルツルだ」
子ども「小さいのは何？」
保育士「エゴの実だよ」

・自分の散歩バックに木の実や枝を入れて、集めることを楽しむ子どもがいる。
・木の実や土から出てきた虫の観察を楽しむ子どもがいる。
・袋に木の実を入れて振り、音を鳴らして楽しむ子どもがいる。
子ども「音が違うみたい」
保育士「どんぐりの多さで音が変わるのかな？」

＜園に持ち帰る＞
・大きさや種類で分ける姿がある。
子ども「割ってみたい」「どんぐり虫出てきた」
・すり鉢や虫眼鏡を用意する。
ままごと遊びにどんぐりを取り入れて友達と遊ぶ子どももいた。

5，振り返り

＜振り返りによって得た保育士の気づき＞

今回は秋の自然物に触れてほしい思いもある中で、子ども達が園庭の落ち葉に気付き、集めることや遊ぶことを楽しんでいたのは良かったが、遊びこむところまではできなかった。予想していたよりも大きさや種類で木の実や落ち葉を分けていた姿が見られ、観察や分ける事が楽しめるような道具を用意しました。今後は、葉っぱでの構成遊びやどんぐりで食べ物を作る製作を行うなど遊びを深めていきたいと思います。